

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	姫路医療生協	代表者	西村哲範	法人・事業所の特徴	『その人らしく気持ちよく生きる』を法人理念に、医療と介護の豊富な多職種事業所が連携を取り、包括的に支援できることが特徴です「一人一人に寄り添う、地域に寄り添う」を小規模多機能ホームの理念に7ヵ所の事業所が営業しています。住み慣れた地域で尊厳を持ち有意義な人生が送れるように在宅生活を意識し、利用者やご家族の状況の変化にも柔軟に対応するようにしています。
事業所名	小規模多機能ホーム おおつ	管理者	竹岡友香子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	人	1人	1人	1人	1人	2人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今後も定期的にアンケートを取りサービスの向上に努めます。	医療評価調査を行った。		アンケートを基に意見効果を行い改善していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	引き続きボランティアの募集を行っている。	4月よりボランティアではないが、営繕入職予定。手作業や、民謡等のボランティアも検討中		営繕を配置し介護職が利用者への関りを増やす。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方が参加しやすい気候を考え開催して行きます。	今年度の開催は出来ていない	前回の開催は、子供達も楽しんでいた、地域の方が楽しめるような祭りがあればいい。	センターを知って頂けるような交流の機会を作る。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み				
E. 運営推進会議を活かした取組み	ご家族や利用者にも参加して頂く。	開催のお知らせを行い、利用者やご家族に参加いただいた。		今後も、開催の発信を行い利用者、ご家族に参加いただき意見を頂く。
F. 事業所の防災・災害対策	地域での開催の予定はないが、今後開催があれば参加していく。		いまの所予定はなし	地域での開催があれば参加する。

法人名	姫路医療生活協同組合
事業所名	小規模多機能ホームおおつ

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2026 年 1 月 20 日 (14:00 ~14:30)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	7 人	2 人	0 人	10 人

前回の改善計画	情報共有の方法を確立する。
前回の改善計画に対する取組み結果	寿の申し送り機能の活用、抜けがないように工夫し、職員全体に情報共有できるようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	5	3	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	7	1	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	6	0	1	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	6	1	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・部会などで情報共有を行えている ・申し送り機能を活用し、特徴や注意点を周知出来ている ・アセスメントシートの活用で必要としている支援が出来ており、支援経過からの情報共有も行っている ・本人様の気持ちに寄り添った声掛けや介助を心掛けている ・積極的にご家族やご本人に生活や好きな事等、情報収集、聞き取りをするように努めている 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・初期の段階では情報が少なく利用者様の対応が十分でない為、支援も手探り状態である ・全ての利用者様に同じように聞き取れていない 家族に会える機会がない、業務に追われて個別の対応が出来ていない為	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
新規の利用者の情報を、職員全体が把握できるよう工夫する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2026 年 1 月 20 日 (14 : 00～14 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	2 人	0 人	10 人

前回の改善計画	半年に一回～したいカードを作成し実行する
前回の改善計画に対する取組み結果	日頃から、利用者の思いに耳を傾け、行きたい飲食店へ出かけたり、フラワーアレンジメントを行った

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	6	2	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	5	2	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	5	3	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	3	3	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 来所された利用者様と関わりを持てるよう意識的に動き、コミュニケーションを図っている・ 限られた時間の中で会話の中から～したいと言う思いを引き出すようにしている・ ご本人、ご家族の目標やゴールは概ね把握出来ている・ 支援経過に残したり、部会やスタッフとの会話で共有している・ 身体維持機能に努めようと試みている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 施設内での関りは出来る事も増えているが、それを自宅でも継続出来るようご家族と継続出来るようご家族と連携する事は思うように進まない事もあるスタッフの意識の低さ〇〇してあげよう、こう過ごして貰いたいと言う意識を持っているスタッフが少ない・ 施設内での関りは出来る事も増えているが、それを自宅でも継続出来るようご家族と継続出来るようご家族と連携する事は思うように進まない事もある	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者のニーズの把握、関わりを増やす。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2026年 1月 20日 (14:00 ~14:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	3人	0人	9人

前回の改善計画	自宅での様子を支援経過に記録して情報の共有をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	自宅での様子は支援経過に記録し、職員全体が把握出来るようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	6	1	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	6	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	4	3	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	5	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	6	1	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">ご利用者様の体調等には常に意識し、変化があれば支援経過や申し送り等で共有するようにしている本人のADLや状況に合わせた介助が出来ており、体調の変化等があれば他の職員とも共有出来ている看護サマリーから情報を得るようにし、基礎的な介護の計画には反映出来ている以前の暮らし方について積極的に聞き取りを行うようにしている日々の顔色や表情等、変化がないか観察している	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">以前の暮らし方の情報が少ない、ケアマネジャーと情報交換共有する時間が少ない、利用者様がどのように過ごしたいか等カンファレンスが少ない為、最初の窓口になるケアマネジャーからの情報だけでは全体像を把握しにくいので、個別性のある計画が立案出来ていない所がある その分の情報収集をどのようにしていくかが課題である	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者に合わせた個別性のある計画書の立案をする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2026年1月20日(14:00~14:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	6人	0人	0人	9人

前回の改善計画	地域資源について部会で伝える。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源については十分に話し合えなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	7	3	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	9	0	0	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	5	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	7	1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・日々の関りやご自宅での様子をご家族様より聞き取り支援経過に挙げる事で情報共有出来ている・1人1人個別にどのような方なのか自分なりにコミュニケーションを取り、共有出来るように努めている・外出レク等で地域や社会との関わりを繋げている・送迎時の様子や、ご家族との関わり方は聞き取りをしている・申し送り等で発信している部分は把握出来ている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・民生委員、地域の資源活用の状況は共有出来ていない事が多い 利用者情報、支援経過に記入されていない事は分からないので、看護師が必要な情報とケアマネージャー、介護職が必要と思う情報に違いがある事もある <ul style="list-style-type: none">・事業所が接していない時間の過ごし方の把握が出来ていない 情報収集不足である	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
引き続き、地域資源について、部会等で話し合い、利用者の生活に必要な情報の把握をする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2026 年 1 月 20 日 (14:00 ~14:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6 人	4 人	0 人	0 人	10 人

前回の改善計画	利用者のニーズに合わせて柔軟な対応をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者のニーズの把握を日頃から共有し、カンファレンス等を行いサービスの見直しを行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	3	3	1	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	3	1	0	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	6	3	1	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	6	0	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・利用者様のニーズを把握し、チームで共有出来ている・ミニカンファレンス(少人数)を直ぐに行い、サービスの見直しや変更など提案している・地域包括、他事業所、病院との連携、(地域連携室)の提案をしている・利用者様だけではなく、ご家族様にも寄り添いながら柔軟に対応出来ていると思う・気づきに対してミーティングで、話し合いや相談が出来ている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・利用者様のご家族だけではその人を支える事が難しい状況もあり、もっと地域の資源を活用出来るように関わって行く必要があるが不十分である為、地域の資源を活用しようと言う提案が少ない・本当は自宅でヘルパー対応出来る人もご家族の希望が強く通いや泊りになっている。以前からの流れで変更出来ない この利用の方法で良いと言われたからと強く押し切れられご自宅だと勧めるが、施設入所されてしまう	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域資源の把握、利用者に合わせた提案が出来るようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2026年1月20日(14:00～14:30)

6. 連携・協働

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	2人	1人	9人

前回の改善計画	
外出レクを通じて地域に出かける機会を持つ。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
積極的に、地域の飲食店へ出かけたりドライブ等を行った。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3	0	3	1	7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	0	3	4	9
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	1	2	5	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	3	5	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・地域の方も参加出来る勉強会の開催・家族会を開催出来た・会議に参加依頼があれば参加するようにしている・おおつ祭りを開催している	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・地域の高齢者や子供の訪問があまりない イベントの把握は出来ているが、時間の都合等が合わず参加出来なかった ルールが厳しい為、出店するブースやその担当者と本部とのやり取りがスムーズに行っていない <ul style="list-style-type: none">・参加型にしても参加される方が居ない→自分にはまだ必要ないと思っている方多い 気になって貰えるようにこちらから積極的に外にアピールする機会が必要である	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域に出かけることで、地域交流を図る	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2026年 1月 20日 (14:00 ~14:30)

7. 運営

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	1人	1人	8人

前回の改善計画	
イベント開催時に地域住民の方にセンターおおつ内を見学して頂く。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
地域の方が見学に来られた際は、対応出来るように態勢を整えている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	7	0	0	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	5	1	0	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	4	1	1	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	4	2	3	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用者様やご家族様からの意見、苦情は所長や他の職員に報告し共有、対応出来ている お祭りを通して地域との関りを持っている 家族会を開催している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 苦情や問い合わせがあった際に内容が上手く伝達出来ていなかったり、次に活かすための対策を考えて進めて行く力が弱い 意識の違い、気付ける人と気づけない人との差である 率先して進めて行く力が弱い 地域の方々との交流があまりないので、学習会の参加呼び掛けを行ったが、地域の方々の参加がなかった為 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
センターおおつを知って頂くために、横断幕の再掲示を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2026 年 1 月 20 日 (14:00～ 14:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	5 人	0 人	0 人	10 人

前回の改善計画

インシデント・アクシデントが起こった際は、早期に話し合いの機会を設け改善策を周知する。

前回の改善計画に対する取組み結果

同じ内奥のインシデントヒヤリハットが毎月上がってきており、改善の話し合いは行っているが、活かしていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	7	0	0	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	3	2	2	10
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	2	6	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	6	0	0	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ひやり・インシデントについては、集計して月次で報告。
ヒヤリに気が付いたら報告を上げて共有している。
法人、事業所で開催する研修会に参加している。動画研修に参加している。
研修を通して視野を広げたり意見交換をすることが出来た。
部会や日頃からスタッフ間で話し合いなるべくインシデントにならないようにリスクマネジメントに努めている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

インシデントについて対策は立てるが、改善に繋がらないケースもある。
ヒヤリの共有は出来ているが、対策までしっかりと統一できていないことも多く同じ事例が億上がっている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

一つ一つの事例をしっかりと振り返り、同じようなことが起こらないようにしっかりと対策を取る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2026年 1月 20日 (14:00 ~14:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	0人	0人	10人

前回の改善計画	成年後見制度について勉強する。
前回の改善計画に対する取組み結果	成年後見人制度の資料を配布した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	1	0	0	10
②	虐待は行われていない	9	1	0	0	10
③	プライバシーが守られている	6	3	1	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7	1	0	0	8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	4	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること アクシデント・インシデントなど申し送りや部会で振り返りや情報共有が出来ている。 インシデントトラブルレポート積極的に提出しアクシデントに繋がらないよう未然に防ぐ。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ヒヤリハットに対する事柄で何度も同じ事柄があがっており検討がまだまだ必要な部分がある。 職場外の研修参加案内があったら参加するようにしているがすくない。地域連絡会に参加できていない
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 法人内研修は参加出来ているが、法人外研修にも積極的に参加する。
---------------	---